

ービスが合理的な価格での供給を保証される限り、地域内の住民ないし企業に対し強制力を用いることに躊躇すべきではないと思われる。

(3) 現在公害取り締りの方法は、個別の公害発生装置の所有者に対し一定の排出規準の遵守を強制するという形式をとっているが、大都市地域の大气汚染のように非常に多数の公害発生者がある場合には、事実上十分な取り締りは不可能であることはすでに数年の経験を経た煤塵の取り締りで証明されている。私は個別の生産者ないし消費者の努力なりモラルに依存しない方法、すなわち一定の設備を強制するとか、一定の材料以外の使用を禁止する等の画一的他律的方法によるのでなければ、十分な成果はあげ難いと思う。たとえば、亜硫酸ガス防止については、硫黄含有量が一定限度以下の石油以外の販売と使用を禁止することによってのみ十分な効果を期待しうるのであって、この場合、取り締り官庁としては石油の販売系統だけを監視すればよいので、比較的容易に監視の徹底を期しえられるはずである。自動車の排気ガスについて、一酸化炭素や炭化水素を排出しないよう個別ドライバーを監視することが不可能であることは自明であるが、この場合も十分な除害装置を取り付けた車以外は販売も使用も禁止する以外に実効ある取締方法は無い。このことは、逆に自動車の排気ガスの場合には有効な除害装置の開発と大量生産が、亜硫酸ガスの場合には低硫黄重油の所要量の供給が公害の法的取り締りの前提であることを示しているのであって、このような物別条件が熟しないうちに、いたずらに取り締り立法の強化を

図っても実効はあがらないのである。われわれが先般の硫黄酸化物に関する環境基準の設定について時間尚早を唱えたのもその意味であって、低硫黄原油の供給増加、重油の脱硫、排煙の脱硫という硫黄酸化物の排出減少に関する三方法が、いずれも技術的あるいは経済的に見とおしがまだ確立していない現在、いたずらに高い理想を掲げてその実現は不可能で、ただ誤解、摩擦、不満を多発させるに過ぎないと思うからである。

#### 4. 結 語

公害は今や大社会問題となったが、問題の広汎さと重大さについてはなお一般に十分認識されているとはいえない。それは、いわばわれわれの文明の裏側であり、経済や技術の進歩に必然的に随伴して発生するものであって、従来どおりの経済と技術の進歩の利益を享受しながら、公害だけを簡単に取り除くことができないのは自明である。ただ公害が重大な社会問題として取り上げられたのはここ最近数年來のことであり、したがって公害の現状の把握についても、その防止方法についても、調査、研究自体がまだきわめて不十分であって、取り締り強化をいう前に、まず現状の正確な認識と効率のよい除害方法の開発を行なわねばならない。広汎かつ多種多様な公害を十分に防止することは、政府、企業、個人がそれぞれ多大の犠牲を必要とする大事業である。そのため、目下最も必要なことは、じっくり腰を据えた調査と、研究と準備とが必要であることを強調したい。

### 海外ニュース

#### アメリカにおける道路建設機械の現状

*Construction Methods and Equipment*  
Vol. 51, No. 2, pp. 68, ~151, Feb. 1969

1969年2月シカゴ市で全米建設機械展(CHICAGO-CON EXPO' 69)が開催された。それを記念して、前回(6年前)の展示会以後のアメリカにおける道路建設機械の発展と現状を用途別に区分して記述したものである。

本文は主に2つの項目に分けられており、最初に、各機械品目の過去6カ年の発展状況を解説している。それによると舗装用機械はいちじるしい発展を遂げ、現在、1日当たり4車線2マイルのコンクリート舗装が可能である。また荷役機械類の改良も注目される。これに反し、トラクター類の進歩はそれほどいちじるしくない。

さらに、現在における使用機種および新製品の紹介、そして今後の問題点、業界の要望等も記載されている。

本文で検討している機械品目としては、

- |             |         |
|-------------|---------|
| 1. トラクター    | 2. 運搬機械 |
| 3. スクレーパー   | 4. ローダー |
| 5. シャベル類    | 6. ドリル類 |
| 7. コンパクター各種 | 8. 舗装機  |

の8種である。

もう一つのタイトルとして、種々の機械のユニークな使用例が数多く紹介されている。道路建設にかぎらず、一般の建設機械において、いわゆる市販の標準的な機種そのままの仕様では現場に適応できないことが多く、ここでは標準の機種のちょっとしたアイディア、あるいは少しの改良で、種々の現場に適応して成功した例を示している。その一、二例を掲げると、

1. トラクターによる斜面の施工
2. 廃物利用のコンパクター
3. フォークリフトと圧削杭打機による杭の施工

などがある。(建設技研 岡田 耕・記)